

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、9月2日に産業建設分科会を開催しました。

認定第1号 令和2年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で認定すべきであると取りまとめることに決定

～質疑～

問：交通安全対策の土木担当員要望の残件数はどのくらいあるのか。
答：令和2年度末の要望残件数は137件である。年間概ね100件程度実施している。
問：桃太郎線LRT化PR動画を制作しているが、どのように活用しているのか。
答：現在桃太郎線LRT化基本計画の策定協議が中断しているが、計画策定協議再開後、地域の方へ説明する際等に活用していきたい。
問：ごみ減量化推進団体報奨金について、約370万円の執行残があるが、主な原因はどうか。
答：昨年はコロナ禍ということもあり、各種団体の取組が少なかったことと、民間の事業者へのごみ排出が多かったことが原因と考えている。
問：従来の就職説明会では参加者が集まらないのではないかと。インターネットを活用して企業を紹介するようなシステムを早急に整備するべきではないか。
答：令和2年度には企業を紹介するガイドブックを作製し、各学校へ周知をしているところである。特に大学生はインターネットを活用した就職活動が中心となっているため、いろいろな事業者の意見を聞きながら、環境整備に努めていきたい。
問：有害鳥獣について、イノシシに比べてシカ、サル、ヌートリアの駆除が少ないと感じるがどうか。
答：被害の甚大さという意味では圧倒的にイノシシである。一番被害が大きいところを食い止めることが大事だと考えており、イノシシ対策に全力を挙げているところである。
問：赤米フェスタについて令和2年度はリモートで実施し、動画を配信しているが、その後動画をどのように活用しているのか。
答：YouTubeで配信しており、現在、約1.9万回視聴されている。
問：農業用の揚水機のほとんどが耐用年数を経過し、故障が頻発しているとのことだが、修繕計画をたてているのか。
答：修繕計画については、今の時点では考えていない。優先順位をつけることが難しいため、どうしても事後対応となっている状況である。
問：企業誘致について、令和2年度も企業から多くの引き合いがあったとのことだが、どの

ような状況か。

答： 開発可能な企業適地が不足しており、今年度適地調査を行い、その結果を踏まえて、企業を誘致できる環境整備に努めていきたい。

問： 市営住宅の使用料について、滞納金の徴収委託を行っているが、状況はどうか。

答： 滞納金徴収の実績は、過去5%前後だったものが、令和2年度は36.7%と徴収率が上がっているところである。